

2003年(平成15年)12月2日(火曜日)

性同一性障害 診療専門窓口 札幌医大が開設

心と体の性が一致しない性同一性障害を専門的に治療するため、札幌医大は一日、付属病院の神経精神科外来に「GID(ジェンダー・アイデンティティー・ディスプレイ性同一性障害)クリニック」を開設した。

性同一性障害の専門窓口としては埼玉医大、岡山大に続き、全国で三つ目となる。クリニックの窓口は神経精神科にあるが、診療は神経精神科のほか婦人科、泌尿器科、外科などの医師約三十人の診療チームが担当する。治療は①精神療法②ホルモン療法、乳房切除③生殖器の造

法、乳房切除③生殖器の造
成など性別適合手術の三段階で、治療を進めるかどうかは、段階ごとに診療チームとは別の医師でつくる判定治療専門部会が合議で審査する。受診の際には記入する受付用紙には性別を記入しなくてもよく、会計や薬局での不快感を軽減するため、本名ではなく自分を感じる心の中の性にした「通称」で受診でき

る。これまで同病院では、神経精神科などに性同一性障害の疑いがある患者約五十人が受診している。クリニック開設初日は事前に予約していた八人が受診した。完全予約制。受診希望者は月曜から金曜までの午後二時～四時に、神経精神科外来 ☎ 011・611・2111 内線 3533 で受け付ける。

①精神療法②ホルモン療法